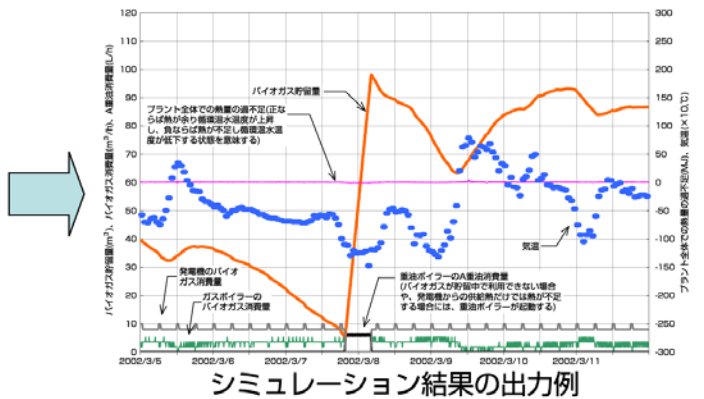
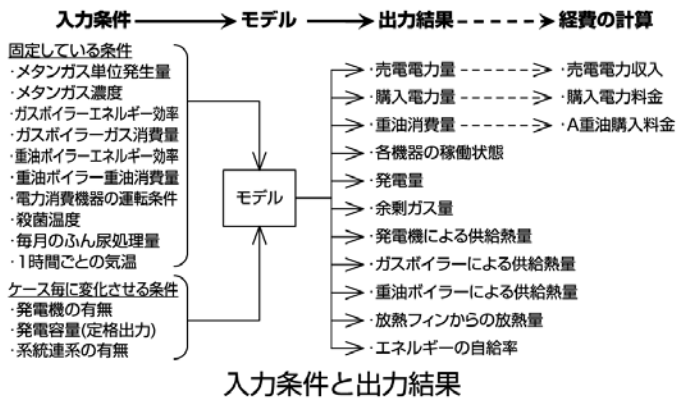


バイオガスプラント運転シミュレーションプログラム

シミュレーションプログラムをひとことで説明すると



もう少し詳しく説明すると



シミュレーション結果はどのような検討に使えるのか

【プログラムの用途例】

売電収入が多くなる運転方法は？

売電単価は日中は高く、夜間は安い

(日中の発電量を多くし、日中の消費電力が少ない運転を行いたい)

しかし、ガス発生量、ガス貯留量は限られている

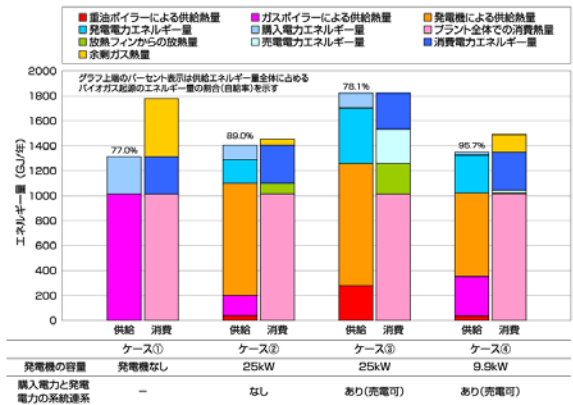
(ガスを一時的に多量に消費すれば、ガス不足が生じるかもしれない)

(外気温の変化に伴い、プラント内の熱需要も変動する)

各設備の運転時間帯は、いつが適当か？

プラントの運転を模擬したシミュレーションが必要

再生可能エネルギーの全量買取制度の導入が検討されており、
売電収入を重視した運転が要望される可能性がある



シミュレーション結果を用いたデータ整理例

(乳牛200頭分のふん尿を処理できるバイオガスプラントにおいて、発電機の容量を変化させた場合のエネルギー収支を検討した事例)

【シミュレーションプログラムの仕様】

- ・ Excel2010 (メインメモリーを140MB程度必要)
- ・ 他の施設で使用する際には、VBA(Visual Basic for Applications) エディターを用い、コードを修正する必要がある
- ・ プログラム著作物登録番号 P第8806号-1

【連絡先】



国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所
寒地農業基盤研究グループ 資源保全チーム
TEL:011-841-1754 FAX:011-842-9173

【用語解説】バイオガスプラント

